2025 年度　横浜市交流委員会報告書

開催内容	2025 年度　第 3 回横浜市交流委員会
日　　時	2025 年 11 月 5 日（水）16:30～17:30
場　　所	神情協会議室&Web 会議
出 席 者	委員会メンバー：中山、高橋、佐伯、辻、今井、樫野、田高、内堀、、渡邊（ヴァングル）、西村、水口、萩原、笠原、加藤（Z）、福地、橘川、野口、 横浜市経済局　：髙木、安藤　　（Z）は ZOOM 参加 神情協事務局　：加藤、甲田　　（敬称略、順不同）文責：甲田

1）横浜市アナウンス
・脱炭素取組宣言のご案内

2）横浜 IT フォーラムについて
11/13（木）開催の横浜 IT フォーラムは参加者 130 名（11/5 現在　会員 40 社 79 名・会員外 34 社 51 名）　交流会 58 名予定。（最終結果　73 社　129 名　KIA46 社 88 名　ゲスト 27 社 41 名　　交流会 65 名）
委員会では実施にあたっての役割分担を調整した。

フォーラム司会	辻担当理事
講演者様対応 2 名	高橋委員長　今井副委員長
受付 2 名	橘川氏　渡邊氏（ヴァングル）
写真撮影 2 名	田高氏　（交代　甲田　）
記事執筆 1 名	福地氏
照明スイッチング 2 名	田高氏　甲田
PC 関係 1 名	甲田 ※今回講師 2 名とも PC 持込のため、最初に接続チェックの予定
交流会司会	辻氏　　マイク回し 2 名　甲田　田高様　今井様
交流会会場誘導	メンバーの皆様（交流会会場までの誘導図を参加予定者に配付）
乾杯	高橋委員長
締め	横浜市　安藤様

3）市内施設見学会について日程と見学先について打ち合わせた。
横浜市から提示された見学先リストに基づき以下の通り第 4 候補地まで決定した。
第１希望
セレンディ　横浜アイマークプレイス
https://www.mitsubishielectric.co.jp/serendie/
三菱電機のオープンイノベーションスペース　2025 年１月オープン
第２希望
バンクパーク横浜　横浜アイランドタワー
https://bankparkyokohama.jp/
歴史的建造物でアート・企業・クリエイターの交流施設。
第３希望
関東学院大学関内キャンパス　中区万代町
https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/evolution/
第４希望
NTTe-City Labo　東京都調布市
https://business.ntt-east.co.jp/content/regional_revitalization/labo/
多種多様な技術のご紹介があり、しっかりとツアーも組んでもらえるとのこと。
今後、見学先との調整をはかる。開催予定日程は、2/24（火）、2/25（水）、3/2（月）、3/3（火）、3/4（水）、3/9（月）、3/11（水）、3/18（水）、3/23（月）、3/24（火）、3/25（水）、

とした。15 時くらいの開催を検討。

4）8/4 開催親子夏休みわくわく見学会報告
8 月 4 日（月）10：00～14：30　JAXA（宇宙航空開発研究機構）相模原キャンパス
で開催した。出席者：17 社 22 家族 60 名（他引率）
宇宙科学に関する見学会を実施した。火星探査機や小惑星往還探査機（はやぶさシリーズ）の展示や国産ロケット等の展示、惑星探査ローバーテスト場・火星探査機の管制指令室等を見学した。他、はやぶさ２のプロジェクトマネージャーであり、現相模原キャンパス副所長の津田氏からの講演会も企画いただいた。

5）委員会対抗コンペ報告
川崎市交流委員会と合同チームを編成し第 2 位となりました。

6）次年度の検討
来年度の委員会日程を調整した。他開催日未定のものは後日調整する。
委員会：5/27（水）委員会・7/22（水）委員会・11/4（水）委員会　神情協開催
IT フォーラム：11/12（木）（横浜市様に確認中）

7）神奈川県警とのセキュニティ活動についての打ち合わせ
辻副委員長から神奈川県警より提案のあった「情報セキュリティ（セキュリティとコミュニティの合成語）」構想について、協議経緯および委員会での検討状況について報告があった。
【神奈川県警との協議経緯および期待事項】
神奈川県警との打ち合わせはこれまでに延べ 3 回実施。
県警としては、県内のサイバー被害対応の相談窓口を協会が担うことを期待している。
しかしながら、人員・費用面の制約から、現時点での窓口設置は困難との認識を共有。
まずは企業向けの啓蒙活動から段階的に枠組みを構築していくことで双方が合意した。
【今後の調整方向】
啓蒙活動を起点とし、段階的な連携体制の整備を進める方針。
協会と神奈川県警、並びに公共団体等の賛同を得て「神奈川サイバーセキュリティサミット（仮称）」の開催を提案する。
同サミットでは、県警から県内の被害状況共有や企業向け対策・心構え、先端事例紹介などを予定。
第 1 回は小規模開催とし、徐々に中規模へ拡大、年度ごとに発展的運用を行う方向で県警と確認済み。
参加対象は、県内の多業種（製造、飲食、流通等）の経営層および情報システム部門を想定している。
【委員会としての対応】
年度内に小規模な第 1 回開催を実現し、以降毎年規模を拡大していく方針。
12 月の常務理事会において本件を大まかな計画として提起し、来年度事業へとつなげる。
将来的に別組織形態の必要性が生じた場合は検討するが、当面は横浜市交流委員会がリードして進める。
営利性を避ける観点から、協会を通じた非営利的スタンスで活動を推進する。
2026 年度の基本方針・事業計画・予算にも本事業を反映させる方向で調整する。

8）今後の神情協事業についてのご案内
2025 年 11 月～3 月までの開催イベントの説明

以　上